

災害が起こったとき、みんなで助かるために...

難病患者ひなんサポーター 募集!

災害時、自分やご家族などの安全が確保できたときに、近隣の人工呼吸器等医療機器を使用している患者さんの、ご自宅での避難の援助や状況確認に協力してくれる学生さん（18歳以上の大学生・専門学校生）を募集しています!

地域の役に立ちたいと少しでも興味・関心のある方は、まずは

難病患者

参加費
無料

8/2 Sat
2025

ひなんサポーター研修会

にご参加ください!

サポーター活動の流れ

18歳以上の大学生・専門学校生が対象
(満30歳になる年度末まで登録継続可能!)

活動内容



- 患者さんのご自宅へ状況確認
- 避難の際の荷物運び
- 移動車への乗り入れの補助
- 医療機器バッテリーの充電支援
- 必要物資の配達 等

※ボランティア活動保険に加入いただきます。(保険料は大阪府が負担)



難病患者ひなんサポーター研修会

- 日時 令和7年8月2日(土)9:30~12:30
- 会場 グランフロント大阪北館タワーB10階
ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーB RoomB08
- 対象者 大阪府内在住の大学生・専門学校生(18歳以上) 60名(要申込・先着順)
- 研修プログラム ・今後想定される災害とは?
・難病患者さんてどんな生活を送っているの?
・災害支援の実際 等
- 講師 ・兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授 阪本 真由美氏
・大阪難病医療情報センター 難病医療コーディネーター 野正 佳余氏
- 申込方法 **8月1日(金)17時まで**に申込みフォーム  よりお申込みください



©2014 大阪府もずやん

<https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/139ce024-8633-4695-a73c-517771e84341/start>



サポーターになるまでの流れ

研修会受講

サポーター登録申請
(最寄の保健所に登録)

登録者証の受け取り
(登録完了)

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 阪本 真由美 教授



専門は減災リスクコミュニケーション、防災教育、災害情報、地域防災。全国災害ボランティア団体支援ネットワーク理事も務める。内閣府個別避難計画モデル事業アドバイザーボード委員。

◆講師コメント

今後予想される災害や、災害時における地域の助け合いの大切さについて、お話しします。

大阪難病医療情報センター 難病医療コーディネーター 野正 佳余 氏

難病医療コーディネーターとして、難病患者さんの支援だけでなく、保健所事業や府の難病医療提供体制に協力。日本難病医療ネットワーク学会や日本難病看護学会など、難病に関連する学会で活動している。

◆講師コメント

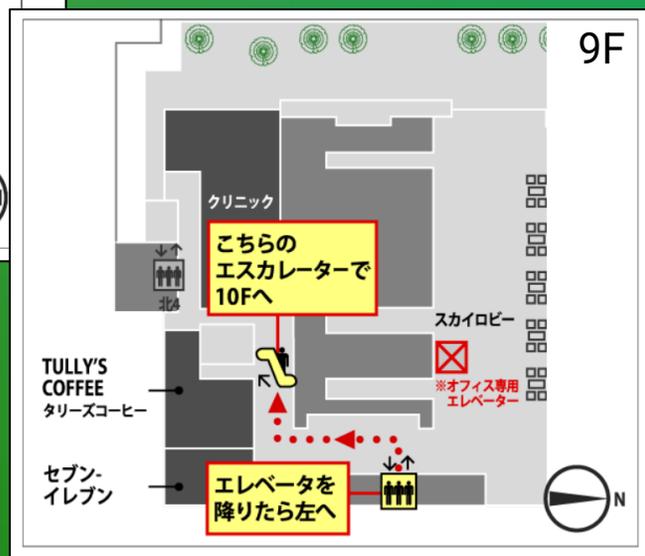
難病患者さんが日頃どのような生活を送り、災害時にどのような危険や困難があるかについてお話しします。

研修会 会場アクセス

① グランフロント大阪 タワーB オフィスエントランスよりエレベーターで9Fへ。



- ② エレベーターを9Fで降りて左へ、突き当りを右に進み、エスカレーターで10Fへ。
③ エスカレーターを降りて左へ進んでください。「Room B08」が会場です。



お問い合わせ ▶▶▶ ☎ 06-6944-6697 ✉ chiikihoken-g01@gbox.pref.osaka.lg.jp

主催：大阪府健康医療部保健医療室地域保健課疾病対策・援護グループ